

市川市 ^{こうのだい} 国府台遺跡

平安時代(9世紀ごろ)と中世(14~16世紀ごろ)の遺跡です。中世の遺構から白磁碗が出土しました。



中世の台地整形跡



中世の建物跡



平安時代の住居跡



中世の道路の跡



瀬戸(せと)、常滑(とこなめ)製品の出土状況



白磁碗が出土した地下式坑(ちかしきこう)

はくじわん
● 白磁碗について ●



中国で作られたもので、ほぼ全面に白色の釉(うわぐすり)がかけられています。

このような白磁碗は、全国的に見ると16世紀頃の遺跡から主に出土しますが、一緒に出土した「すり鉢」(瀬戸産 15世紀中頃)や「かめ」(常滑産 14世紀中頃)などから、15世紀中頃のものと考えられています。

中国やベトナムなど東アジア各地との交易がおこなわれ、海外の高級な製品が一部の地域で流通していたことを示す貴重な資料です。

(口径 8.9 cm 高さ 4.4 cm)

出土遺物巡回展「房総発掘ものがたり」
～北から西から海路から～
にてトピックス展示中!!
巡回展の詳細は[ここ](#)をクリック